

みずき

mizuki



contents

同窓会会長ご挨拶	1	平成 25 年度入試日程	7
大垣女子短期大学へ輝ける将来に向けて	2	mizuki news	8
同窓会事務局だより	2	同窓会役員だより	9
学科だより	3	ホームカミングデイについて	10
オープンキャンパス日程	7		

総合短期大学として、 ますますの発展を祈念いたします

大垣女子短期大学同窓会 会長 北村 君子

同窓生の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。今年度も皆様と同窓会通信でお逢いする事ができますことを大変嬉しく思っています。

この度、九州北部豪雨で被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、東日本大震災の被災地で生活されている方々の一日も早い復興を願うばかりです。

さて5月には日本各地で金環日食が観測され、貴重な天体ショーにて感動しました。また今年は4年に一度のオリンピックの年でもあり、母校のある岐阜県において、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会が開催され大きな感動を

与えてくれることでしょう。音楽総合科ウインドアンサンブルコースでは国体関連曲をレコーディングされており活躍の姿を拝見でき、大変嬉しく思っております。来年度には看護学科が新設されます。5学科となり総合短期大学としてのますますの発展を祈念申し上げます。

昨年、初めて大学祭と関連し、ホームカミングデイを開催いたしました。懐かしい母校で、恩師や同窓生300名程が集い、同窓生によるメイクショーや作品展示なども行われ大変有意義なひと時を過ごすことができました。今年も開催しますので、一人でも多くの参加をお待ちしております。

暑い日が続きますが、皆様方のご活躍を祈念申し上げます。

いのち 生命と健康を守る 看護師をめざして

2013年4月 看護学科開設

現在の医療は、急性期の疾病を対象としたキュア(cure)型の高度医療と、亜急性から慢性期の病期にある患者に対するケア(care)型の地域医療の2極に分かれて展開しています。大垣女子短期大学看護学科ではいずれにも対応できる看護活動を実践するカリキュラムにより、生命と健康を守り社会に貢献できる看護師を育成します。



大垣女子短期大学～輝ける将来に向けて～

大垣女子短期大学 理事長・学長 中野 哲



大垣女子短期大学は、地域社会における知の拠点として開学以来43年の歳月を経て、現在は全国各地で活躍している最初の卒業生は定年を迎えていることになる。

今や少子高齢社会となり、キャンパスに往時の若い学生が溢れていた時代とは様変わりしているが、当時の多くの会社から頂いた樹木が本学で成長を続け、大木となってみずきの郷を形成して学生の憩いの場となっている。

さて、現在まで修業年限3年の幼児教育科と歯科衛生科、2年の音楽総合科とデザイン美術科の4つの学科で構成されていた本学は、来春から3年の看護学科が創設され5学科となり更に飛躍する気運が盛り上がってきている。近年、日本における短期大学の地域貢献の重要性が論じられているが、すでに本学では大垣市との間にいろいろな分野で相互の発展のために連携・協力するという協定が結ばれている。こうして大垣市が重視している子育て支援を本学が学生の教育方法の改善に取り組むことによって文部科学省により「質の高い大学教育推進プログラム（教育G P）」に選定されている。他の短期大学と異なって3年の修業年限を採用している本学の幼児教育科では大垣市の幼児教育重視施策との連携を深めており将来の飛躍が期待されている。また、口腔が全身の一部との観点から全身医学を学ぶ歯科衛生科は国試合格率100%の実績とともに注目を集めてきており、地域社会の口腔疾患の予防活動を行ってきている。一方、現在の日本の厳しい社会環境での就職難が問題となっているが、音楽総合科やデザイン美術科などの芸術系の在学生に対する就職支援キャリアサポートセンターは大きな成果をあげてきている。

なお、本学が誇るユニークな音楽総合科やデザイン美術科等の芸術系の地域貢献も素晴らしく、ウインドアンサンブルの活躍はすっかり地域社会に根を下ろしており、新しく立ち上がった管楽器リペアコースには全国から学生が集まっている。また、日本で最も早くマンガコースを立ち上げ多くの漫画家を輩出してきたデザイン美術科へは最近フランスから学生が留学するなど、本学は文科省が勧める地域貢献のみでなく、国際化も順調に進んでいる。このような本学に、来春から新しい看護学科が加わることで、キャンパスは従来より活気溢れるものになり、将来に向けて一段と飛躍するのではと期待されている。社会が複雑化し、医療環境も大きく変貌している中、看護師の役割は以前にも増して重要なものとなってきている。看護師にとっては、医学・看護学という専門性の高い学問や、高度で繊細な看護技術の習得のみならず、何かと弱い立場の人々を思いやる優しいところが必要である。すなわち、今や看護師には精神誠意尽くすところを基盤として幅広い知識と技術が要求される時代になっている。本学のCHARMINGキャンパスと名付けられた自然一杯の環境下での同世代の学生同士の交流は、ごく自然な形で感性と知性の溢れる人間性が涵養されていくものと思われる。すなわち、本学では幼児の発育や口腔ケアの重要性を理解し、音楽や美術に造詣の深い、知性と感性を兼ね備えた人情味溢れる理想の看護師を養成し、地域社会へさらなる貢献をしていきたいと思っている。

大垣女子短期大学同窓会 事務局 だ よ り

日頃より本会の運営につきましては格別のご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。次のとおり報告を致します。

平成23年度収支決算報告と平成24年度収支予算について

次のとおり、役員会にて承認議決されました。

●平成23年度 大垣女子短期大学同窓会収支決算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

◎収入の部

項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
前年度繰越金	29,686,532	29,686,532	0	普通預金 2,186,532 有価証券 27,500,000
会費	1,955,000	1,865,000	△90,000	
預金利子	280,000	286,366	6,366	
(未払金)	0	6,000	6,000	
合 計	31,921,532	31,843,898	△77,634	

◎支出の部

項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
消耗品費	50,000	0	△50,000	
印刷製本費	50,000	0	△50,000	
通信費	50,000	3,160	△46,840	
みずき発送経費	2,500,000	2,416,777	△83,223	
会議費	50,000	38,379	△11,621	
旅費	50,000	36,000	△14,000	
学科・支部育成費	500,000	0	△500,000	
コンピューター関係費	300,000	0	△300,000	
雑費	30,000	933	△29,067	
行事費	300,000	321,639	21,639	
予備費	200,000	0	△200,000	
次年度繰越金	28,141,532	29,027,010	885,478	普通預金 1,527,010 有価証券 27,500,000
合 計	31,921,532	31,843,898	△77,634	

以上の通り、ご報告致します。

平成24年5月26日

大垣女子短期大学同窓会 事務局 中野 哲

監査の結果、帳票等について正確かつ適性であることを認めます。

平成24年5月26日

大垣女子短期大学同窓会 監査役 中野 哲

●平成23年度 大垣女子短期大学同窓会奨学金収支決算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

◎収入の部

項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
前年度繰越金	8,439,797	8,439,797	0	普通預金 8,300,217 郵便貯金 139,580
預金利息	800	1,036	236	
奨学金返済額	590,000	584,000	△6,000	
合 計	9,030,597	9,024,833	△5,764	

◎支出の部

項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
奨学金貸与	3,340,000	2,930,000	410,000	
次年度繰越金	5,690,597	6,094,833	△404,236	普通預金 5,623,215 郵便貯金 471,618
合 計	9,030,597	9,024,833	5,764	

以上の通り、ご報告致します。

平成24年5月26日

大垣女子短期大学同窓会 事務局 中野 哲

監査の結果、帳票等について正確かつ適性であることを認めます。

平成24年5月26日

大垣女子短期大学同窓会 監査役 中野 哲

●平成24年度 大垣女子短期大学同窓会収支予算書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

◎収入の部

項 目	予算額	備 考
会費	2,700,000	(幼37歯46) ×15,000 (音58デ39)
預金利子	280,000	
前年度繰越金	29,027,010	普通預金 1,527,010 有価証券 27,500,000
合 計	32,007,010	

◎支出の部

項 目	予算額	備 考
消耗品費	10,000	
印刷製本費	20,000	
通信費	20,000	
広報誌みずき関係経費	2,600,000	
会議費	50,000	
旅費	50,000	
学科・支部育成費	500,000	
コンピューター関係費	200,000	同窓会データ管理
雑費	10,000	
行事費	300,000	第二回ホームカミングデイ
予備費	200,000	
(未払金 前年度)	6,000	
次年度繰越金	28,041,010	普通預金 541,010 有価証券 27,500,000
合 計	32,007,010	

●平成24年度 大垣女子短期大学同窓会奨学金収支予算書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

◎収入の部

項 目	予算額	備 考
前年度繰越金	6,094,833	普通預金 5,623,215 郵便貯金 471,618
預金利息	800	
奨学金返済金	1,724,000	
合 計	7,819,633	

◎支出の部

項 目	予算額	備 考
奨学金貸与	700,000	
次年度繰越金	7,119,633	
合 計	7,819,633	

ご寄附をいただいた卒業生のみなさん(氏名の掲載を承諾された方)

北村君子、松倉好乃、清水さくら、内田智子、改田美里、伊藤敦子、妹尾三恵、藤澤智子、今居美知子、杉本美千子、平田ミノリ、住川恵、吉田真由美、星恵美子、竹内りん子、仁木みさお、永田タキ子、渡辺博美、日高みほ子、杉平利佳子、大野美智恵、宗藤好枝、稲澤裕子、間塚優子、円谷仁子、岸本由美子、金田洋子、瀬戸遥子、梅澤なほみ、六塚留美子、窪田みゆき、及川栄子、島村弘子、牧野桂子、杉山真衣子、安藤裕子、工藤直子、横井江美子、稲田智恵美、西尾千咲子(敬称略)

集 計 期 間／平成23年4月1日～平成24年3月31日

寄附金合計／469,000円

寄附件数合計／57件

三年制であることの意義

幼児教育科 学科長 西川 正晃



三年制——本学の幼児教育科を象徴するこの教育課程は、平成19年度より始まり、今年で6年目を迎えました。ゆったりと学びが深められるというよさは理解していただきながらも、「短期大学なのになぜ三年制なのか」「二年で保育士資格や幼稚園教諭二種免許が取得できるのにどうして」など、三年制の本質を理解していただくことが難しい時間が過ぎていたことは事実としてあるかもしれません。三年制は「大学の学びと保育現場での実践を往還させながら、保育実践力を高め、保育現場や社会が求める質の高いプロフェッションを育成すること」にその理念があります。時代の様々なニーズからくる「流行」の部分と、どんな時代も変わらない「不易」な部分が交錯する現代社会の中で、この理念はあまりにも崇高すぎるものなのでしょうか。

新年度が始まってからしばらくして、日時は異にした二人の来客が研究室にありました。二人とも幼児教育科三年制課程を卒業し、現在保育現場で実践を重ねている一年目と二年目の保育者です。その二人の話が印象的でしたので紹介させていただきます。

「同期の先生に短大（二年制）を卒業した方がいるのですが、一緒に仕事をしていると『そんなこと大学で学んでいないの?』と思うことがよくあるんです。普通の短大は二年間で慌たしいので、私が当然だと思っている保育観や保育技術などを十分深められなかったのですね」と保育者二年目の卒業生が話していました。

また、「保育主任の先生に褒められました。保育主任の先生は、私の実践をご覧になって『これが三年制のよさなんですね』と独り言のように

話してくださったんです。嬉しかったです」と保育者一年目の卒業生は話していました。二人の卒業生の話は、幼児教育科三年生課程の理念や取り組みが、実を結び始めていることを教えてくれます。

私たち保育者養成にかかわる幼児教育科は今、胸を張ってこう言うことができますでしょう。「三年制でなきゃダメなんです」と。

授業拝見

1年生総合教養演習（前期必須・教養科目）

第5回 大垣の郷土や歴史について～学外研修～ 郷土めぐり

H24年5月16日 12:30～15:00

1年生では各科とも総合教養演習が行われます。幼児教育科では将来の保育者として伝統文化を受け継ぎ、総合的な視点から現代の諸問題に対応できる力をつけて子どもに接することができるよう内容を計画しています。第5回では、大垣の郷土や歴史について学ぶ『郷土めぐり』を行いました。これは大垣市観光協会が行っている「おいしい大垣ぶらりウォーク」の通行手形を購入して、城下町大垣を散策して楽しむものです。有名な木枡でできている通行手形を持って、「大垣城」や俳人松尾芭蕉と大垣の先賢たちを紹介する「奥の細道むすびの地記念館」を訪問して歴史に触れたり、水の都ならではの和菓子などおいしいものを味わったりしました。訪れたところ6か所でおもてなしをしていただける楽しさもあって、2時間半あまりの時間はあっという間に過ぎてしまいました。子どもの心をもっている幼児教育科1年生ならではの学習になったようです。



1年生総合教養演習の主な内容

- ④女性の生き方について（学長講話）
- ⑥童謡、わらべうたについて
- ⑩お茶の世界
- ⑪人形劇鑑賞
- ⑫保育現場の見学
- ⑬エブロンシアター鑑賞
- ⑮先輩保育者のお話

親子拝見

幼児教育科の卒業生であるお母様と、同じ科に在籍して学んでいる2年生の学生にインタビューしました。

大学に通っていて楽しいことは？

3年間あるので自分の時間を作ることができます。やりたかったことに精一杯取り組めることができるようになったことが楽しいです。＜トライアスロンクラブで岐阜清流国体の炬火リレーに出ました！＞

大学に通っていて大変なことは？

幅広い分野で専門的な知識をたくさん身につけなければならないことです。実習に生かそうと思うと大変です。＜9月には2週間の幼稚園実習、がんばってください＞

なぜこの大学に入学しようと思ったのですか？

母から学生時代の話をよく聞いていました。自然と私もこの学校でのびのびと学びたいと考えるようになりました。

将来について思うことはどんなことですか？

幼児教育の勉強をするようになり、その中でも、たくさんの資格が取得できるので自分に合った仕事をみつつけていきたいです。＜レクリエーション・インストラクター資格にも挑戦しています＞

ふだんどんな話をよくしますか？

いやなことや、おもしろかったことなど、延々と話すのを聞いています。ファッションや芸能界の話もされてもついていけません……。とにかく時間があれば2人でしゃべっています。

お母さんとの会話はどんなことを話しますか？

学校生活のことや、趣味、いろんな相談事を話します。



幼児教育科2年
豊永 里奈さん

S57年度卒業
お母様 豊永 真弓さん
（大垣市 きど保育園保育士）

在学中の思い出は？

サークルの仲間や先輩と、合宿をして、大騒ぎした事。人形劇をしたり、学園祭でがんばった事が心に残っています。今度30年ぶりに、サークルの仲間と金沢で同窓会をします！！

お子様の姿を見て、今お母様として思っていることはどんなことですか？

自分も学生の時はこうだったのかなあと思ったり、こんなふうじゃなかったなあと思ったり。

大学へ一言ありましたら、お願いします。

いつも温かく見守っていただきありがとうございます。先生方に友達感覚で接していることは時代の流れでしょうか。アットホームな大学になったと思っています。時には厳しさもありで、これからもよろしくお願いします。

お母様は、2人の子育てをされた後、保育士として再び働かれたそうです。

大学の先輩としての思いと、母親としての気持ちの両方で、お嬢様を見守られて、とてもよい関係であることを感じました。里奈さんもまた、同じ学校で学んでいることに喜びを持ち、将来の夢に向かって努力している姿がステキでした。43年間の歴史が幼児教育科を支え、今いる学生を育ててくれているのですね。



新しい視点で、より魅力ある学科に

デザイン美術科 学科長 加納 秀美

今年の春は寒さが長引き、短大の桜は入学式に間に合わなくて残念に思いました。

満開になった短大の桜は美しい。桜の開花と新入生と重なり新しい1年が始まる。どんなパワーを持った学生が入ってくるのかという思いです。入学式、ガイダンスの後、デザイン美術科の新入生歓迎会ではここ何年か2年生が料理を作り新入生を

迎えています。又、昨年から来ていたフランス人留学生も食事会に加わり楽しい1日を過ごしました。

1, 2年の交流が少ない中このような機会はとても大切なものと感じます。学生時代を思い出しても、制作の合間に皆で焼きそば、トン汁を作った思い出が残っています。また、そこで何かを語っていたような気がします。

美術科から始まったデザイン美術科も学生の多様化を考え、今までに様々なカリキュラムの編成、コース設定を考えてきました。今年の新入生にはストーリーマンガ、基礎マンガ、コミックデザイン、アニメーション、絵本・イラスト、総合デザイン、Webコースなど7コースの設定をしました。開校時から継続している造形美術の基本はいろいろなコース、授業科目のなかで繋がって来て

います。これからもその基本は、かたちを変えようと継続できることを願っています。

今、デザイン美術科で一番の課題である学生募集は、各講座、又は、ホームページでの募集によるマンガ、デッサンの通信添削、マンガ甲子園でのブースの出店、フランス留学など新しい視点での対応と、出前講座、一校一校の地道な高校訪問、オープンキャンパスでの多様な講座、丁寧な実技指導など考えられる事をやっています。7人いた教員も6人、そして5人となりましたが、教員各々がこれからの新しいコースの設定も考えながら、皆、熱い思いを持ち、魅力ある短大にしようと考えております。

最後になりましたが、同窓生の皆さまにはご健康、ご活躍を願っております。又、情報、ご助言がございましたらご連絡をよろしくお願い致します。

平成23年 **11/12**

「学外研修」古美術実地研修(平等院・石山寺)



学 科 行 事

(平成23年度後期～24年度)

平成24年 **3/31**

松本英三教授
三宅喜美代教授 退官

平成24年 **5/12**

「学外研修」スケッチ旅行
(名古屋・東山動物園)



平成24年 **7/7**

学習成果発表会「大垣女子短期大学FESTIVAL☆」
(アクアウォーク大垣/似顔絵描き)



平成23年 **12/3**

第4回学術シンポジウム2011デザイン美術科フォーラム



平成24年 **2/8～13**

第39回
卒業記念展



平成24年 **9/3・4**

「学外研修」マンガ原稿、出版社へ持ち込み(東京)

平成24年 **9/29**

「学外研修」古美術実地研修(東大寺・興福寺)

平成25年 **2/5～11**

第40回卒業記念展

卒業生の活躍紹介

ハル―新連載 週刊ファミ通 2012.6～

坂ノ睦―新連載 月刊少年サンデー 2012.3～

藤咲もえ―デビュー

月島 綾 双葉社刊 コミック「ゴメンナサイ」 映画化

月刊 少年ライバル 期待賞(2名)

月刊 コミック アヴァルス 努力賞

在校生・研究生の活動

株式会社ライセンスアカデミー名古屋支社 ポスターイラスト

ぎふ清流国体・大会 バスマスク、お弁当掛紙 制作



音楽総合科の更なる発展を目指して

音楽総合科 学科長 服部 篤典

全国的に音楽系短期大学の募集停止、学生数激減が顕著な時代において、本学音楽総合科では、ここ数年収容人員100名を超える学生が在籍しております。しかし、今年度の入学生は50名であり、何とか定員を確保出来た状態となってしまいました。そんな中、音楽総合科においては、各コース学生にとって魅力ある学習内容の充実、卒業後の活動等を見据え、学外での活動の活発化等に重点を置き、更なる発展を目指していく考えております。

ピアノコース・電子オルガンコースでは、ヤマハやカワイなどの講師資格取得に向けた「演奏グレード」「指導グレード」の授業をより綿密に行い、合格率上昇を図ると共に、学外からの依頼演奏も積極的に取り組んでいます。

ウインドアンサンブルコースでは、公務員音楽

隊(警察音楽隊、自衛隊音楽隊等)への道を考え、公務員試験対策としての授業を学科独自に設けました。また、合奏授業が従来週2コマでしたが、平成25年度より週4コマに増やし、演奏技術向上を目指します。今年度は、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会での演奏があるため、年間50本を超える学外演奏にも精力的に取り組んでおります。

音楽総合科で最も学生数の多い管楽器リペアコースでは、演習室が1室しかなく、どうしても演習授業数に制限があったため、平成25年度には演習室を2室とし、学生の学習環境を整える予定です。また、担当教員が全国の楽器店、製造メーカー、修理工房等を訪問し、就職先開拓にも力を注いでおります。

音楽療法コースでは、卒業後の意識付けをしっかり持たせるため、今まで以上に学外での学習を積極

的に行うと共に、高校生に対し、音楽療法の魅力を伝える手段として、担当教員の高等学校における出前授業の数を増やす等の活動を行っています。

※今年度より大垣女子短期大学音楽科・音楽総合科同窓会が新たにスタートすることとなり、卒業生の方々と共に大垣女子短期大学音楽総合科の発展を目指したいと考えております。



音楽総合科・今後の行事

是非
ご来場下さい！

定期演奏会

10月6日(土) 13:00開場 13:30開演
会場:大垣市スイトピアセンター音楽堂

卒業演奏会

2月11日(月・祝) 13:00開場 13:30開演
会場:大垣市スイトピアセンター音楽堂

ウインドアンサンブル定期演奏会

3月20日(水・祝) 13:00開場 13:30開演
会場:大垣市民会館

コーストピックス Course TOPICS



1. ピアノコース

ピアノコースでは将来、音楽教室講師を希望する学生が多く、そのために必要なグレード教育に力を入れています。学生たちは新しい専門的知識・技術の習得に最初は戸惑いを覚えることもあるようですが、自分の将来の夢や希望する進路に向けて、努力しながら頑張っています。学生募集などで各地の楽器店の方々とお話をする機会があり、大垣女子短期大学の卒業生の方々が講師として活躍しているのと同じく、何となく誇らしく思うと同時に、卒業生の皆様のように活躍できるような学生を輩出していかなければと身の引き締まる思いもしました。また、卒業生の皆様が育てられた生徒さんが本学に入学して下さることも多く、皆様のお気持ちや諸先輩方から現在の学生へと繋がっている歴史に感謝するとともに、これから末永く後輩達へと繋げていけるよう、益々の教育の充実を図っていきたく思っております。

4. 管楽器リペアコース

管楽器リペアコースでは、本学独自の高い水準を持った「管楽器修理技能認定」、通称、「学内認定試験」を各楽器ごとに行っております。技能レベルの評価は、複数の講師が詳細な部分に至るまでチェックし、平均点で80点以上が合格となります。このレベルでの評価は、全国トップクラスと自負しております。

2. 電子オルガンコース

電子オルガンコースでは、ピアノコース同様、音楽教室講師に向けたグレード教育に力を入れています。また講師のみならず、昨年度はヤマハデモンストレーターに合格した学生も輩出しました。音楽人口全体がそうであるように、電子オルガン業界でも、電子オルガンを習い続ける子どもが減り、本学でも電子オルガンコースの学生数には毎年厳しいものがあります。しかしながら入学してくる学生は皆、電子オルガンで表現することの楽しさを知っており、電子オルガンの魅力に惹かれている学生ばかりです。電子オルガンが誕生して50年、電子楽器の可能性に向かって様々な進化を遂げてきた楽器だと思いますが、これからも編曲作品をはじめ、電子オルガンの魅力的なオリジナル作品が増えいき、電子オルガンを学びたいと思う子ども・学生が増えていくことを願っております。卒業生の皆様にも、どうぞ生徒さんやお知り合いの方々に電子オルガンコースをご紹介下さればと思います。

5. 音楽療法コース

音楽療法コースでは、就職先で使える技法を身に付けることを見据えたカリキュラムと実習を心がけています。6月には、卒業生が勤務するKライングループの施設に希望者を募り見学に行ってきました。実際に働いている先輩に会ってお話を直接聞くことで、自分が就職した姿を具体的にイメージできると思います。音楽療法コースの卒業生は、卒業直後は介護職業務として現場に入ることがほとんどですが、2～3年勤務するうちに、音楽療法と相談業務を兼ねる仕事になることが増えてきています。利用者様のご家族と直接お話をする立場になりますので、基本的なカウンセリングの技法について短大で学んでおくことが、今後より必要になっていくと思われます。

3. ウインドアンサンブルコース

ウインドアンサンブルコースの主な活動として、リペアコースと共に多くの演奏活動を行ってきました。毎年恒例となった各務原市で開催される各務野吹奏楽アカデミーでのゲスト演奏や、中川小学校、福束小学校、伊自良北小学校、伊自良南小学校などの大垣市内や近隣の市町村での音楽鑑賞教室での演奏など多くの皆様に楽しんで頂くことができました。今年度はぎふ清流国体が開催され、開会式での音楽隊演奏の練習も始まり充実した活動を行っています。また後期も既にいくつかの小学校から依頼を頂いているので、さらに技術に磨きをかけてより良い演奏を届けられるように練習に取り組んでいきます。

3月20日にはウインドアンサンブルの集大成ともいえる定期演奏会が予定されており、市民の皆様喜んで頂くのはもちろん、演奏者としても納得のいく演奏ができるように練習に励みます。



歯科衛生科から同窓の皆様へ

歯科衛生科 学科長 石川 隆義

歯科衛生科は昭和49年の保健科開設以来38年目を数え、これまでに4,713名もの卒業生が全国各地でご活躍され、伝統と実績を積み重ねてきております。特に今秋の後期より、最終学年の3年生は卒業後の希望進路に合わせて専門性を向上させるため、「病院歯科専修クラス」「審美歯科専修

クラス」「専門的口腔ケア専修クラス」「総合歯科診療専修クラス」の4つの専修クラスに分かれて臨床実習に出ます。現在の歯科衛生士は一つの歯科医院の中だけでなく、入院病棟や緩和ケア病棟での医科領域での口腔ケア、在宅・介護保険施設における要介護者等に対する口腔ケア、さらには口腔における形態的・色彩的・機能的な審美性が求められている時代背景のもと、この専修クラス導入により将来的にも社会のニーズにマッチした人材を輩出できると考えています。また、歯科衛生士として生涯にわたって研究マインドを持ち続けてもらうために、「卒業研究」という選択科目も設定しています。現在、学生が取り組んでいる研究テーマは、「審美歯科の認知度に関する調査・

検討」、「A T P測定法による医療器具・器材の汚染度、手指の清浄度の調査・検討」等です。

来年度からは歯科衛生科と同じ保健衛生分野である「看護学科」が設置されます。チーム医療醸成の観点からも、両学科の教員交流・学生交流を積極的に進めていきたいと考えています。

将来、歯科衛生士を目指そうと思われているご息女、知人の高校性・社会人の方がいらっしゃいましたら、歯科衛生士の国家資格と短期大学士の学位取得のできる本学の歯科衛生科を是非ご推薦、ご紹介して下さい幸いです。今後とも、同窓の皆様からのご指導の程をよろしくお願い致します。

お世話になった先生からの母校への思い出

母校に感謝

昭和52年度卒業生 関谷 智子 (旧姓 安達)

G号館を入ると、赤い絨毯に独特の薬品の匂い。1階奥にあったユニットの並ぶ臨床実習室は、床がコンクリートで冬は底冷えする寒さ。あの頃は若かったからか、半袖ワンピースの実習衣でも平気でした。実習中、肘はつく、足は組むな、私語はしない。国家試験(当時は歯科衛生士試験)前の特訓は恐怖の一言。スケーリングに口腔衛生の口頭試問、器具の口頭試問にラバーダム防湿。ラバーダム防湿に至っては、フレームが少しでも歪んでいようものなら、あなたの心の歪みがフレームに…。私が母校に就職してからは、消毒室、レントゲン室ができ、臨床実習室は1階に2教室になり、ユニットも2回変わりました。学生時代、できれば行きたくなかった、ドアをノックして扉を開けた瞬間を恐れたあの部屋(標本準備室)は、今は2階にスタッフルームとして存在し、ノック、学生番号、名前、用件の順番は今も変わらず伝統となっています。伝統といえば、身だしなみチェックの時の、手を前に出し、学生番号、名前、挨拶も変わっていません。

卒業してから34年間、今春母校を離れるまで、私の居場所は、母校のG号館実習室にあったように思います。大声で、「立ったら椅子を中に入れる。」「挨拶、返事をする。」「実習室でパタパタ足音を立てて歩かない。」「きっと皆さんの記憶の中にもあると思います。充実した日々でした。母校とは有難いもので、こんな私でも、長い間多くの学生と一緒に勉強し、苦楽を共にする機会を与えてくださいました。そんな母校に少しは恩返しできたでしょうか、そうできていれば嬉しいです。退職してから、非常勤講師としてお世話になっています。毎日通っていた道も、常勤の時は遠いと感じたことはなかったのに、最近は、少し遠いかなと感じるようになりました。でも、母校と私の心の距離は、常勤の時のままです。皆さんも母校を忘れないでください。(現在 歯科衛生科 非常勤講師)

歯科衛生科33年の思い出

金田 式世

昭和54年に大垣女子短期大学に赴任した時、私はまだ20代の後半で、1年生の歯科診療補助・予防処置の実習を担当していました。当時は第三部(勤労学生を対象とした昼間2交代の定時制教育)を含めて1学年の学生が200名近くいましたので、実習は6クラスに分け、同じ実習を6回行っていました。国家試験には実技試験もあり、全員合格してもらいたいという思いから、実習は今よりもずっと厳しかったと記憶しています。

8年前、一念発起して、以前から学びたかった文学部の通信課程に入学しました。そして、翌年、学業を優先するために大垣女子短期大学を退職し、非常勤講師になりました。30数年ぶりに学生生活を体験して、レポート作成や試験勉強のつらさなど、学生の気持ちが身をもってわかるようになり、授業をする上でもプラスになったと考えています。

現在は、非常勤講師として微生物学や生理学などの基礎科目を担当しています。たまに、体調が優れない時もありますが、教壇に立つと不思議と元気が出てきて、パワー全開になります。これからも学生との出会いを大切にしていきたいと思っています。

(現在 歯科衛生科 非常勤講師)

私の思い出

平成4年度卒業生 池田 真理

短大の先生方、事務職員の皆様、卒業生の方々お元気ですか?ご無沙汰しております。

私は平成22年3月まで14年間短大で後輩指導に携わらせていただきました。その折には大変お世話になりました。

今回この原稿のお話をいただき、改めて学生時代のことを思い出してみました。オリエンテーションで初めて手にしたテキストの山。1度にすべて持ち帰ることはできず、名前を書くだけで嫌になったのを覚えています。初めての相互実習では、相手への思いやりよりも自分のことが精一杯で、怖い思いをさせていたなあと反省しました。歯科衛生士には向いていないのではないかと思いつつ、学生時代を送っていた気もします。当時は厳しいと感じたことも今は先生方の伝えたかったことが分かるようになった気がします。ありがとうございました。

最後に学生の皆さん、今が大変でも10年、20年後の自分を想像して、厳しさと優しさを兼ね備えた先生方の指導をしっかり吸収してください。立派な社会人になって一緒に仕事ができることを同窓生は楽しみに待っています。

学科の取り組み・行事

■4月F S C 新1年生63名を迎え学科交流会

ドッジボールや長縄とびをして親睦を深めることが出来ました。

■6月3日(日)

「歯の健康フェスティバル2012」3年生18名が参加

子どもから高齢の方まで300人程の市民の方へブラッシング指導を行いました。

■6月27日(水)

総合演習1年生「浴衣の着付け」

夏祭りに向けて浴衣の着方、帯の結び方を学びました。

■7月7日(土)

学習成果発表会「大垣女子短期大学FESTIVAL☆」

3年生が第1大白歯(6歳臼歯)の大切さの話や、ブラッシング指導を行いました。



お知らせ

第21回歯科衛生士再チャレンジ研修会のご案内

岐阜県歯科医師会は資格を持っていないながら結婚や子育てで職場を離れている歯科衛生士さんの復職を応援します。あなたも資格を生かして医療現場に復帰しませんか?

日 時/平成24年10月18日(木) 12:30~15:30

場 所/岐阜会場:岐阜県歯科医師会館 東濃会場:セラトピア土岐

研修内容/講義・実習(SRPとPMTC、最近トピックス、岐阜県歯科衛生士事情、口腔ケアなど)

受 講 料/無料

受講お問い合わせ先

(社)岐阜県歯科医師会事務局 Tel (058)274-6116 担当:川瀬

HP/ <http://www.gifukenshi.or.jp/> E-mail/ office@gifukenshi.or.jp

看護学科では、人を思いやる優しさと豊かな教養を兼ね備えた看護師の育成をめざします。
皆さんの主体的・積極的な学びを支援できるよう、看護実践力を重視したカリキュラムと
施設を整え、臨床・教育経験豊富な教授陣が意欲あふれる皆さんをお迎えします。
看護職を志す皆さんにお目にかかる日を楽しみにしています。

教育理念

看護師として豊かな人間性を基盤に看護に必要な基礎的能力を修得し、
将来看護の専門家として変化する社会のニーズに対応できる人材を育成する

NEW

学科だより トピックス

2013年4月 開設

看護
学科

大垣女子短期大学 看護学科で身に付けるべき能力

看護の基盤となる

知識と
健康問題に関する
思考力

チーム医療で必要となる、
保健・医療・看護・福祉各分野との
協働・協調能力

様々な健康状態(症状)に
対応するための
看護実践力

常に自身の知識と
技術を磨く看護師としての
自律性

看護学科の特色

1

豊かな人間性を持ち、高い専門
性と自律性をもって医師や他の
保健・医療専門職と協働・連携し
ながら、高度医療と地域医療の
どちらにも対応できる看護師の
育成をめざします。

2

本学既設4学科の教育内容と
関わることで、従来の大学・短期
大学には見られない効果的な
学びが可能です。看護師に必要
な感性を高め、ケアの幅を広げる
ことができます。

3

43年間にわたって社会の様々な分野で
活躍する女性の教育を行ってきた実績
が大垣女子短期大学にはあります。
そのため、看護学科での教育におい
ても、本来女性が持っている優しさをいか
すことができます。

●平成24年度 オープンキャンパス開催日程

9/15(土)、10/21(日)、10/27(土)、12/22(土)、H25 3/23(土) ※10/27(土)はみずき祭(大学祭)と同時開催

●平成25年度入試 入試情報

幼児教育科・デザイン美術科・音楽総合科・歯科衛生科

入試区分				願書受付期間	試験日	合格発表日
推薦入試	指定校推薦入試	普通科推薦	専願	平成24年10月29日(月)～11月 6日(火)	平成24年11月11日(日)	平成24年11月16日(金)
		専門学科・総合学科推薦	専願			
	推薦入試第一次	公募推薦	専願・併願			
		専門学科・総合学科推薦	専願・併願	平成24年11月26日(月)～12月 5日(水)	平成24年12月 9日(日)	平成24年12月12日(水)
	推薦入試第二次	自己推薦	専願			
		公募推薦	専願・併願			
一般入試	一般入試第一次	専門学科・総合学科推薦	専願・併願	平成25年 1月21日(月)～ 1月30日(水)	平成25年 2月 2日(土)	平成25年 2月 7日(木)
	一般入試第二次	自己推薦	併願	平成25年 2月12日(火)～ 2月18日(月)	平成25年 2月22日(金)	平成25年 2月27日(水)
	一般入試第三次		併願	平成25年 3月 4日(月)～ 3月11日(月)	平成25年 3月15日(金)	平成25年 3月18日(月)
特別選抜入試	社会人・学士等特別入試第一次		併願	平成24年11月26日(月)～12月 5日(水)	平成24年12月 9日(日)	平成24年12月12日(水)
	社会人・学士等特別入試第二次		併願	平成25年 2月12日(火)～ 2月18日(月)	平成25年 2月22日(金)	平成25年 2月27日(水)
	社会人・学士等特別入試第三次		併願	平成25年 3月 4日(月)～ 3月11日(月)	平成25年 3月15日(金)	平成25年 3月18日(月)
	外国人留学生入試		併願	平成24年10月29日(月)～11月 6日(火)	平成24年11月11日(日)	平成24年11月16日(金)
	海外帰国子女入試		併願	平成25年 1月21日(月)～ 1月30日(水)	平成25年 2月 2日(土)	平成25年 2月 7日(木)

看護学科

入試区分				願書受付期間	試験日	合格発表日
推薦入試	指定校推薦入試	専願		平成24年11月 1日(木)～11月 9日(金)	平成24年11月17日(土)	平成24年11月23日(金)
	公募推薦入試第一次	専願・併願				
	公募推薦入試第二次	専願・併願				
一般入試	一般入試第一次	併願		平成25年 1月16日(水)～ 1月25日(金)	平成25年 2月 3日(日)	平成25年 2月 7日(木)
	一般入試第二次	併願		平成25年 2月12日(火)～ 2月18日(月)	平成25年 2月22日(金)	平成25年 2月27日(水)
	一般入試第三次	併願		平成25年 3月 4日(月)～ 3月11日(月)	平成25年 3月15日(金)	平成25年 3月18日(月)
特別選抜入試	社会人特別入試第一次	併願		平成24年11月29日(木)～12月 7日(金)	平成24年12月15日(土)	平成24年12月21日(金)
	社会人特別入試第二次	併願		平成25年 1月16日(水)～ 1月25日(金)	平成25年 2月 3日(日)	平成25年 2月 7日(木)
	社会人特別入試第三次	併願		平成25年 2月12日(火)～ 2月18日(月)	平成25年 2月22日(金)	平成25年 2月27日(水)

※試験会場は全て本学です。 ◎同窓生(在学生含む)の子女・姉妹および卒業生が入学した場合、入学後、申請により入学検定料30,000円をキャッシュバックします。(全入試区分対象)

◎オープンキャンパスおよび入学試験に関するお問い合わせ先 教務・広報課 TEL:0584-81-6819 E-Mail:info@ogaki-tandai.ac.jp

みずきニュース

平成24年度 主な全学行事

入学式4月1日(日)
 ファーストステップキャンパス (FSC)4月4日(水)
 健康診断4月5日(木)
 前期授業4月6日(金)~7月26日(木)
 前期定期試験7月27日(金)~8月2日(木)
 大垣女子短期大学FESTIVAL☆(学習成果発表会)7月7日(土)
 後期授業9月24日(月)~1月28日(月)
 後期定期試験1月29日(火)~2月4日(月)
 歯科衛生科卒業研究発表会10月3日(水)
 音楽総合科定期演奏会10月6日(土)
 十万石まつり10月7日(日)
 みずき祭前日祭・みずき祭10月26日(金)・27日(土)
 歯科衛生科決意を語る会11月21日(水)
 こども祭1月27日(日)
 デザイン美術科卒業記念展2月5日(火)~11日(月)
 音楽総合科卒業演奏会2月頃予定
 卒業証書・学位授与式3月17日(日)
 ウインドアンサンブルフェスティバル3月頃予定



入学式(平成24年4月1日)



FSCクラブ紹介(平成24年4月4日)



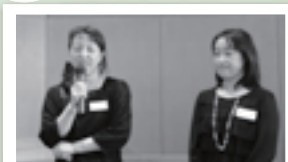
十万石祭り(平成23年10月9日)



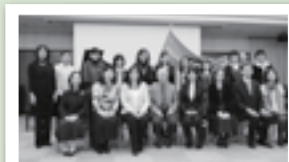
みずき祭(平成23年10月29日)

各科同窓会が行われました

美術科/デザイン美術科同窓会(平成24年2月13日)230名が参加



音楽総合科(音楽科)同窓会(平成24年3月25日)20名が参加



会員募集中!詳しくは
 ブログ名『ガッキーと
 ゆかいな音楽仲間』
 をご覧ください。

子育てサロン「ぷっぷあ」開催日を増やしました。

平成20年に開設しました子育てサロン「ぷっぷあ」は、今年度から開催日を増やしました。

今までは、第2・4木曜日(10:00~13:00)のみでしたが、第3木曜日(10:30~11:30)も開催。毎回、学生による企画やお誕生日会、季節の催しなど、楽しい企画を開催しております。

そしてさらに、6月から、第1木曜日(10:30~11:30)には申し込み制による「子育てミニ講座」を開講しています。

第1・2回目の子育てミニ講座では、本学非常勤講師 岩田美千代先生による「食育について学ぼう(心と体を育む食事、子どもの食事、親の食事について)」の講座が開講されました。食べる事が好きになる離乳食・幼児食のお話など、参加されたお母さんたちは熱心に先生の話に聞き入っているようでした。

今後のミニ講座は「子育てを語ろう」「わらべうたと絵本でのんびり子育て」などを開講する予定です。是非一度お越し下さい。 ※詳しくはホームページで掲載しております。



「支援の輪を広げたい」みずき祭実行委員が気仙沼市を訪れました。

みずき祭実行委員が気仙沼市を訪れました

毎年多くの来場者で賑わうみずき祭。今年のテーマは「みずき~Infinity」。東日本大震災の被災地と大垣市と私たちの絆を作りたいという思いから、実行委員の学生5名が、8月7~9日宮城県気仙沼市を訪れました。仮設住宅や児童養護施設に伺い、夏祭りの手伝いや楽器演奏、絵本の読み聞かせ、おにごっこ等をし、多くの方々とふれあいました。被災地の現状を間近で見て感じ得た思いを、他の学生や家族、大垣市の皆様やみずき祭に来場された皆様に伝える事で『支援の輪』が広がるように考えていきたいです。

ボランティアの村上さん 卒業生の菊池直子さん 認知症防止ネットの方々



気仙沼市在住の幼児教育科第3部卒業生の二人に会うことができました

菊池さんより頂いた
 メモ帳&ポストカードセット



絵本の読み聞かせ

皆の心を届けます

現在『絵本・小説・人形』を募集しています。集まった物は被災地へお送りします。郵送先は大垣女子短期大学学生会へお送り下さい。(問い合わせ先: 学生支援課小松宛(0584-81-6820)) よろしくをお願いします。

同窓会役員だより

vol.1

歯科衛生科に11年間勤務し、2人目の出産を機に平成6年に退職後、足が遠のいていた母校に数年前から同窓会役員として訪れています。現在はデスクワークをしています。立ったraisを入れたり、爪を伸ばさずにいるのは、私だけではないかもしれませんね(笑)。

全国で歯科だけでなくいろんな分野で活躍している卒業生の声を聞くとうれしくなりません。そんな皆さんに会えるチャンスが今年もまたやって来ます。

「みんな!! 関谷world健在だよ!!!」
青木 真弓 (保健科第3部卒業)

私はカワイ音楽教室講師を経て今は自宅などで音楽講師をしています。2人の子育てに追われる日々ですが、レッスンに来てくれる生徒さんやその親さんとのコミュニケーションが私のストレス発散の一つにもなっています。

昨年のホームカミングデイでは、若い卒業生たちが徐々に再会し、短大に通っていた頃のように笑顔で楽しそうに近況報告しあっている姿が見られ、主催した私たちも嬉しく思いました。昨年お越しになられていない方も是非! ホームカミングデイにいらして短大時代にタイムスリップしてください!

日比野 亜沙美 (音楽科卒業)

私はデザイン美術科を卒業して、サンメッセで10年勤務後退職しました。2人の子供の育児をしながらの仕事はとても大変でしたが、周りの人達に支えられなんとかやってきました。退職してからまた数ヶ月の作り、イベント企画&出店、畑、釣り...等)を存分に楽しんでます。中でも、誰もが楽しめるイベント「アースデイ岐阜」は毎年たくさんの人達に来ていただき、すごくやりがいを感じています。これからも人とのつながりを大切に、充実した毎日を送っていきたくです。ホームカミングデイでも新たな出会いを期待しています♥

桑原 裕美子 (デザイン美術科卒業)

同窓会は

ご存知のとおり卒業生の組織です。

私たち本部役員は、各科各部より選出された16名で構成されており、

年に数回役員会を開き、

会の運営について審議しています。

特に昨年はホームカミングデイの企画運営のために集まる機会が増え、

ひとつの事を作り上げる

「よろこび」を感じています。

みなさん、一緒に母校を

盛り上げよう!!!

現在まこと保育園に勤務しています。保育園には時々短大からの実習生の子が来ます。私にもこんな頃があったなあと思いながら将来同じ保育士として働くことを夢みて、私に伝えられることを伝えさせていたいています。話は変わりますが、縁があって同窓会役員をやらせていただき、昨年のホームカミングデイでは久しぶりに友達と再会することができました。皆さんもぜひ今年のホームカミングデイに参加してみませんか? 懐かしい人に会えるかも!? ですよ。

坂 光都枝 (幼児教育科卒業)

今はなき国際教養科卒業生としてはとてもさみしい思いです。しかし、母校が校舎も内容もどんどん進化していく歴史を卒業しても近くで見られる事を幸に感じています。

在学中は、バスケットばかりしていた記憶しかありませんが、仲間と共に過ごした時間はとても貴重なものです。今はバスケットから離れて、ゴルフにはまっています。今はバスケットを続けている仲間もいます。ですが、今でもバスケットを続けていければいいなあ。いつかまた皆で集まりバスケットができればいいなあ。

日比野 由香理 (国際教養科卒業)



第2回

ホームカミングデイ 開催します

ホームカミングデイとは

同窓生の皆様に、懐かしい母校にお集まり頂き、母校の近状に触れ、恩師や級友との再会・交流を楽しんで頂くための集いです。当日は大学祭「みずき祭」の日です。皆様お誘い合わせの上、是非お越し下さい。

第1回 ホームカミングデイ

★約200名の方が来場★

“迷わず悩み 自分らしく生きる”
ヘアメイクショー
白須あけ美さん (歯科衛生科卒業)



私は現在、美容のトータルエステティシャンとしてBeauty atelier Soin ソワン (大垣市鶴見町) のオーナーをしています。同窓会役員である私は、みずき祭のステージにてヘアメイクショーをやらせていただき大変貴重でありがたい体験をすることが出来ました。卒業してもこうして大学と関わり、いつまでも本学の学生であるという思いと誇りを持っていきたいと思っています。

テルミン&マトリョミンコンサート
大島留奈さん (音楽科卒業)



音楽科卒業生のlalalunaと申します。ピアノ・リトミック講師の他、岐阜・愛知を拠点に、世界最古の電子楽器テルミンと、マトリョシカにテルミンの機能が内蔵されたマトリョミンの演奏活動、指導を行っています。触れずに演奏する奏法が不思議で魔法の様！また、地元ラジオ局でFMパーソナリティとしても活動中！



展示作品
伊藤 えりかさん
小酒井 里佳さん
西宇 宏美さん
新田 奈美さん
(デザイン美術科卒業)



※今、ステージでの発表・展示作品等を募集しております。
この機会に、卒業後のご活躍を披露してみませんか？ 趣味で始めた事でも結構です。またご自身の宣伝チラシやメッセージなども展示させていただきます。お気軽にお問い合わせ下さい。
★同窓会事務局 大垣女子短期大学内 学生支援課 森山・小松
TEL 0584-81-6820 E-mail komatu@ogaki-tandai.ac.jp
★申込締切 9月28日(金)
※すべて無報酬となります。交通費や運搬費なども自己負担となります。

大垣女子短期大学 〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 TEL. (0584) 81-6811 (代) FAX. (0584) 81-6818 <http://www.ogaki-tandai.ac.jp>
Ogaki Women's College 【学科構成】幼児教育科・デザイン美術科・音楽総合科・歯科衛生科



◆(財)短期大学基準協会による第三者評価が始まった初年度の平成17年度、全ての評価領域において「適格」認定。



◆平成19年度、全ての校舎、耐震補強完了。
◆平成14年度から学内外全面禁煙。



平成20年度 文部科学省 教育GP
大垣女子短期大学
地域の子育て施策を活用した教育方法の改善

◆大垣女子短期大学の教育活動が平成20年度文部科学省選定の「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に選ばれました。

大垣女子短期大学通信
みずき 2012 夏号
同窓会通信

発行日/平成24年8月31日
編集/広報委員会
発行/大垣女子短期大学
E-mail tosho@ogaki-tandai.ac.jp